

授業と評価の年間計画

教科	国語	科目	古典B		
履修条件 対象生徒	必修 普通科（文型） 2年				
学習目標	古典作品を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身に付ける。				
学習方法	<p>【授業】 家庭での予習を前提に授業が進む。まず、音読を通して正確な読みを身に付ける。語句・文法・修辞法などの基礎的な事項を理解して口語訳を行った上で、作中人物のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとする姿勢を持つ。その際、自分のものの見方、感じ方、考え方との共感、違和感などをワークシートやノートに必ず書き留める。また、時代背景やその当時を生きた人々の生活習慣などを理解し、現代を生きる自分と比較することによって深い読解につなげる。</p> <p>【家庭】 授業中に指示された宿題は、確実に次の時間までに仕上げる。こまめに辞書を引き、文法事項を確認しながら早め早めに予習をし、分からない箇所をきちんと把握して授業に臨む。古文単語の学習は、計画的に進めておく。</p> <p>【補習・その他】 土日祝日に出される「週末課題」は、問題を解いて終わるのではなく、分からなかった語句・文法事項などは辞書や文法書で確認する。</p>				
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期 (1) 中間検査まで 説話『宇治拾遺物語』 故事・寓話 漱石枕流 病入膏肓 先従隗始</p> <p>(2) 期末検査まで 随筆『徒然草』 『方丈記』 史伝『三国志』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動と心理の推移を読み取り、和歌の修辞を理解する。</li> <li>簡潔な表現の話を読み、故事成語の本来の意味を理解する。</li> <li>話の展開を的確にとらえ、作者が言おうとしていることを理解する。</li> <li>随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。</li> <li>時代背景を理解し、作者の思いを読み取る。</li> <li>長文の漢文を正確に訓読し、登場人物の人物像を的確に理解する。</li> </ul>			
	<p>2 2学期 (1) 中間検査まで 物語『伊勢物語』 日記『更級日記』 文章『桃花源記』</p> <p>(2) 期末検査まで 随筆『枕草子』 史伝『史記』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の心情と、平安貴族の理想とした「雅び」の精神を理解する。</li> <li>文章を正しく読解し、作者の心の動きを理解する。</li> <li>和歌に込められた登場人物や作者の心情を正確に読み取り、内容把握につなげる力を養う。</li> <li>文章の展開を的確にとらえ、作者の思想・作者の理想とする社会について考える。</li> <li>敬語表現を本文に即して理解し、登場人物の人物像を読み取る。</li> <li>中国の歴史書の特質を理解し、文章表現の具体的内容や文章の論理の展開を明確にとらえ、登場人物の生き方について考える。</li> </ul>			
	<p>3 3学期 (1) 学年末検査まで 物語『大鏡』 物語『源氏物語』 思想『論語』『孟子』『荀子』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物相互の関係を理解し、心の動きをとらえる。</li> <li>敬語表現に注意して登場人物の描写を読み取り、主人公の置かれた状況や登場人物の心情を理解する。</li> <li>中国の儒家思想について理解を深める。</li> </ul>			
評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題を総合的に判断して評価する。				
その他	古文の授業では古語辞典と文法書、漢文の授業では句法書を必ず持参しよう。				